

天文学の扉を開こう

6月の夜空

【火星】

夏を代表する星座に「さそり座」があります。橙色のアンタレスが目立つこの星座に、このごろは明るい星が2つあって、アンタレスと合わせて小さな三角形を作っています。この二つの星は火星と土星です。アンタレスと同じように橙色に輝くのが火星、やや黄色っぽく輝くのが土星で、どちらも太陽に照らされて明るく見える「惑星」です。対してアンタレスは自ら輝く「恒星」で太陽の仲間です。火星とアンタレスは同じような色に見えますが、火星の色は地面そのものの色、アンタレスの色は温度で決まる色で、色がつくしくみが違います。

さて、この火星ですが、5月31日に地球に最接近して、現在は徐々に離れつつあります。火星接近といえば2003年の「大接近」をご記憶の方もいらっしゃると思いますが、今年は「中接近」と呼ばれる程度の距離です。火星の接近には「小接近」と呼ばれるもっと離れた接近もあります。このような違いがなぜ生じるかというと、地球が太陽を巡る軌道がほぼ円形なのに対して火星は楕円形で、地球軌道との距離が近いところと遠いところでは倍近く距離が違うからです。それだけではなく、地球は1年で軌道を一周しますが、火星は2年と少しかけて一周するので、互いに近づく位置が毎回違うからです。それで、軌道が近いところに地球と火星の両方がやってくれば「大接近」、遠いところなら「小接近」、その中間なら「中接近」となるわけです。

今年は中接近でしたが、再来年の夏には2003年以来の大接近となります。話題になったあの大接近を見逃した方は、それに匹敵する大きさで、火星を見ることが出来ます。そのときに備えて、今年の火星を確かめてみてはいかがでしょうか。夏が見ごろになります。

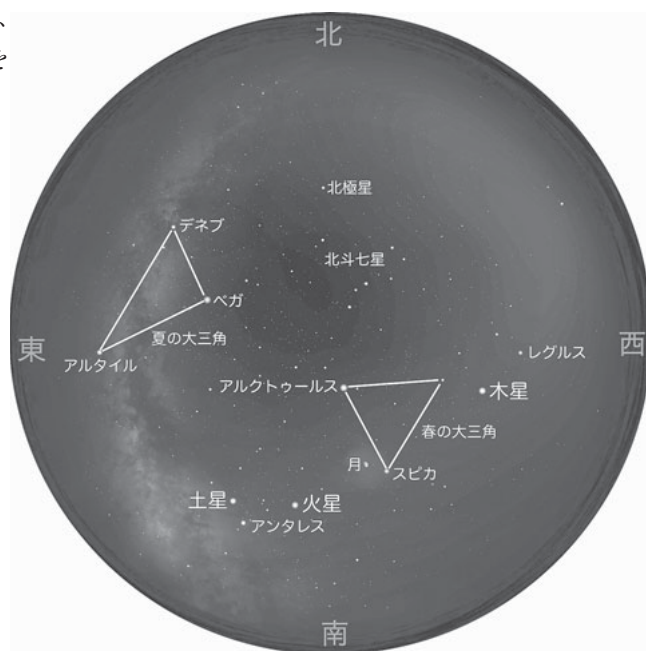
ところで、火星といえば「生命」が話題になります。火星には生命が誕生したのだろうか、誕生したとすればどれくらいまで進化したのだろうか、今も生命がいるのだろうか、など、疑問は尽きません。次回は、火星の生命探査のお話をしようと思います。

6月のぐんま天文台のイベント

・4日(土) 星空さんぽ

○星図の説明

6月15日午後9時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも
同じ星空になります。(「月」を除く。)



リトルミュージアム

絵の具を使って、吹き流しと鯉のぼりを作りました！



ひらかた こはる ちゃん



おおぶち りおん くん

わが家の

アイドル



※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話をください。お待ちしております(*^_^*) ☎26-7944(直通)



原 平形 奏太くん(2歳)

僕の名前は「そうた」です。自由にのびのび、かつ力強く、まるで音楽を奏でるかのように楽しい人生を送れますようにと願いを込めて両親に名付けてもらいました。

大好きな弟と一緒に、外で砂遊びをするのがとっても楽しい！それとダンスが好きだから、みんなにみてもらいたいな。

食べ物だと果物が大好きで、バナナやみかん、いちごがお気に入りなんだよ！



戸室 都筑さくらちゃん(2歳)

私の名前は、ふるさとを愛し、まわりの人々と仲良く楽しく過ごせるようにと願いを込めて名付けてもらいました。

保育所のお友達と遊ぶのがとっても楽しいので、毎朝目が覚めると「保育園に行く！」って言うんだよ。

お休みの日は、戸室のおばあちゃんや、判形のおじいちゃんとおばあちゃんに会いにいて、一緒に遊んでもらうの。み～んな大好きだよ！

こちら「7代目緑のふるさと協力隊」

こんにちは！第23期緑のふるさと協力隊の増田雄太です。

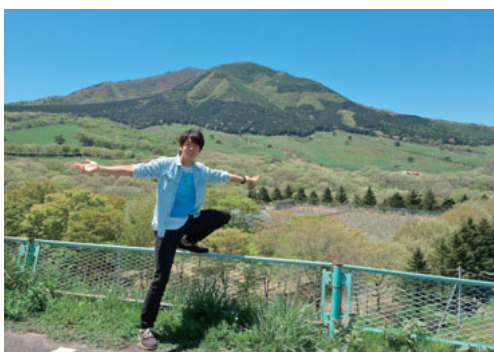
高山村に来てから、約1カ月が経ちました。自然の豊かな高山村では、季節の変化を五感でハッキリと感じられて、とても新鮮です。高山村に来て、初めて新緑の鮮やかさや、ツツジの華やかさを知ることが出来ました。

また、自分は「色」が好きで「インテリア」や「ガーデニング」に興味があります。高山村では、少し外を歩けば、綺麗に手入れされた庭や花壇を目にします。時間が出来たら、ぜひ高山村のみなさんの庭を

見て回らせていただきたいです。他にも、お気に入りの場所などを教えてもらえると嬉しいです。

そして、今年度は「食」とも向かい合っています。普段の活動では、農家さんのお世話になることが多いので、こういった機会を通じて「食」について学んでいきたいです。

高山村での生活は、まだ始まったばかり。これから多くのことを五感で感じ、勉強していこうと思います。



緑のふるさと協力隊ブログ「高山てくてく」 <http://life-takayama.hatenablog.jp/>